水性塗料

PARFEIT TOP 有機HRC

標準施工仕様書

屋根用耐候性強化色
／屋根用遮熱色

製品名	パルフェTOP有機HRC（屋根用耐候性強化色／屋根用遮熱色）
種　別	水性1液反応硬化形有機HRC塗料
荷　姿	15kg/缶
用　途	一般屋根
適用基材	一般屋根、新生（化粧スレート）瓦、セメント瓦、乾式洋瓦、釉薬瓦、アスファルトシングル、カラー鋼板、塩ビ鋼板など

工　程	材　料	調　合	所要量/㎡/回（施工面積）	施工器具	塗回数	間隔時間（23°C）	可使時間（23°C）
素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いてください。 ②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。 ③塗装面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。						
下塗り	下地に応じた下塗材を施工してください。 屋根用遮熱色を施工する場合は、下塗りに無機有機ハイブリッドEPO（ホワイト）をご使用ください。						
上塗り	パルフェTOP有機HRC	15kg	0.13～0.16kg（93～115㎡）	刷毛 中毛ローラー （ウーブンタイプ）	2	4時間以上 5日以内	—
	清　水	0～5%					

注意事項

- 塗料の使用期限は未開封の状態で水性製品、水溶性溶剤製品6ヶ月、油性製品12ヶ月です。開封後はなるべく早めに使いきってください。
- 上記記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- アスファルトシングルに塗装する際は下塗りに無機有機ハイブリッドEPO［水性タイプ］をご使用ください。
- 乾式洋瓦はターボノズル等を併用しながら150kgf/cm²以上の圧力で入念に洗浄してください。着色スラリー層が除去できていることを確認したうえで無機有機ハイブリッドEPOを2回塗りしてください。
- 中塗りにセラベースを使用する際はセラベース［水性タイプ］、［油性タイプ］どちらでも使用できます。ただし、アスファルトシングルにはセラベース［水性タイプ］をご使用ください。セラベースは仕様に則ってご使用ください。
- **屋根用遮熱色に中塗り材のセラベースはご使用できません。必ず屋根用遮熱色は2回塗りで仕上げてください。**
- 塗料使用の際は主剤と硬化剤の調合を守り、内容物が均一になるよう十分に撹拌してください。
- 希釈は仕様の調合割合を守り十分撹拌してください。調合割合を誤ると光沢や隠ぺい性が悪くなります。
- ローラーで施工する際は、気泡の発生や毛抜けの少ないウーブンタイプのローラーをご使用ください。また、テープなどであらかじめローラーの浮遊繊維を処理してからご使用ください。
- 所要量は厳守してください。所要量が少ない場合、点錆の発生、耐久力の低下、色相の違い、隠ぺい力の低下、及び遮熱効果が十分に発揮出来ない恐れがあります。
- 新生（化粧スレート）瓦等の重なり部分に塗料が付着し詰まっている個所は皮すき等で除去してください。漏水の原因になります。
- 施工環境が気温5℃以下の場合、湿度85%RH以上の場合、結露が発生する可能性がある場合は、外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けてください。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- 被塗物の表面温度が5℃以下の場合は塗装を避けてください。
- 常に結露が発生する地域、時期、場所での塗装は避けてください。
- 夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- 塗装しない箇所は前もって塗料が付着しないように養生してください。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取ってください。
- 素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗り替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- 塗料は、冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらなく、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- 塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物とし処分してください。（排水路、河川、下水、土壌を汚染する場所へ廃棄しないでください。）
- 材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は安全データシート(SDS)をご確認ください。

第1版 2026.06.24 作成